※令和４年度以降入学生用

学校番号	２０１

令和５年度　国語科

教科	国語科	科目	論理国語	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「論理国語」　（数研出版）						
副教材等	国語力を高める教養講座評論２５選（第一学習社） 意味から習得音訓別重要頻出漢字リアルマスター3300（尚文出版） イラストとネットワーキングで覚える現代文単語げんたん改訂版（いいずな書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・1年次で習得した「読む力」を、個人で、時には周囲の人と協働してさらに伸ばすとともに、「書く力」を活用して論理的思考を形にする。
・他者との意見交換や共有を通して、新しい視点を取り入れ、自己を相対化する力を養う。
・一年間の学習を通じて、学習の到達段階を「自己把握」しながら「既習事項」の自己検証・反復学習を行い、次の学習へとつなげていくこと。
・授業時間外で何をどのように学ぶべきかを意識して学習計画を立て日々の学習に取り組むこと。

2　学習の到達目標

・論理的な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
・論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
・自主的な読書によって、言葉の持つ価値への認識を深めるとともに、その論理性を評価する力を養い、言葉を通して他者や社会にかかわろうとする態度を育てる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・実社会で必要となる国語の知識や技能を身に付けるようにしている。 ・文章の論理の大枠をつかみ、的確に要旨をつかめている。	・「書くこと」,「読むこと」の各領域において、文章を論理的, 批判的に考える力を伸ばす。 ・文章の論理を的確につかみ、自身の価値観と比較して思考することにより、創造的に考える力を養う。 ・他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	・言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしている。 ・言葉がもつ価値への認識を深めようとするとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。

※令和４年度以降入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1	「日常」を読む ［教材］ 消費されるスポーツ 未来世代への責任 弱いつながり	a：推論の仕方について理解を深めている。主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。 b［　読　］：、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。 c：文章の論理展開や表現を迅速に読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	小テスト 定期考査	学習の振り返り課題 定期考査	学習の振り返り課題 長期休暇課題
	「近代」を様々な視点で読む ［教材］ 国境を越える言葉 〈近代〉の入口と出口の間 疑似群衆の時代	a：言葉そのものの意味を理解したうえで、本文中での特徴的な意味をとらえている。 b［　書　］：文章全体の論理の明晰さを意識しながら、段落や一文の構造にも意識を向け自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫している。 c：課題テーマについて積極的に自分の考えを深め、文章内容を参考にしながら、学習課題に沿って適切にまとめようとしている。	小テスト 定期考査	学習の振り返り課題 定期考査	学習の振り返り課題
2	「非日常」を考える ［教材］ 「具体」から「抽象」へ 添削の思想 「文化が違う」とは何を意味するのか	a：専門用語や日常生活で使用する機会の少ない語彙の意味を把握し、論旨の構造を理解している。 b［　読　］：文章の内容や解釈を自分が持っている価値観と対比させて読み、自分の考えを深めている。 c：筆者の意見を参考にしながら、積極的に根拠や具体例を用いて文章を構成し、学習課題に沿って自分の意見をまとめようとしている。	小テスト 定期考査	学習の振り返り課題 定期考査	学習の振り返り課題 長期休暇課題
	「常識」を疑う ［教材］ 野生の「クジラ」と人間の「鯨」 学問の政治性 「安楽」への全体主義	a：情報を階層化して整理する方法について理解し、文章全体の構成や展開の仕方をつかめている。 b［　書　］：立場の異なる読み手を納得させるために、批判的に読まれることを想定して、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫している。 c：課題テーマについて積極的に自分の考えを深め、多様な例を想起しながら、学習課題に沿って適切にまとめようとしている。	小テスト 定期考査	学習の振り返り課題 定期考査	学習の振り返り課題
3	「近代を彩る思想」に触れる ［教材］ 日本語は非論理的か 人工知能はなぜ椅子に座れないのか	a：論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 b［　読　］：文章の構成、論理の展開などを的確に捉え、論点・要旨を明確にしながら内容を捉えている。	小テスト 定期考査	学習の振り返り課題 定期考査	学習の振り返り課題 長期休暇課題

※令和４年度以降入学生用

	メディアのテロル	c:本文要旨と自身の価値観を対比させ、学習課題に沿って、自身の主張を明確に相手に伝えようとしている。			

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　(　　)時間

・書くこと　…　(　２５　)時間

・読むこと　…　(　４５　)時間